

2026年度 第1四半期決算のご報告

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第1四半期は、地政学リスクの増大により不確実性が一段と高まる中で、脱炭素社会の実現に向けたGX投資や、データセンター、半導体等のAI関連投資がエネルギーや工作機械等の製造業に拡がりを見せる等、設備投資は堅調に推移しました。

このような環境のもと、当社はエネルギー、インダストリーセグメントにおけるプラント・システム事業の受注拡大、コンポーネントの収益力強化、新商材の投入、デジタル技術を活用した生産性向上や、サプライチェーン改革に取り組んでまいりました。その結果、第1四半期決算は、売上高、営業利益、経常利益、純利益の全てにおいて過去最高を更新しました。これに伴い、中間業績予想を上方修正するとともに、通期業績予想もこの見直しを反映し、上方修正を行っております。

国際秩序の動揺により世界情勢は不透明感が増しておりますが、当社は「従業員ファースト」のもと、エネルギー・環境技術の革新を通じて、安全・安心で持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

7月28日に発生いたしました「令和8年熊本地震」により、犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様ならびに関係の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。被災地の一日も早い復旧と復興をお祈り申し上げます。

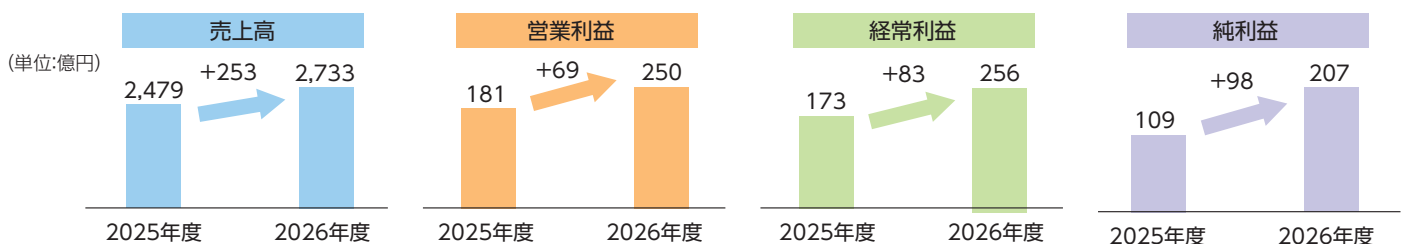
暑さの厳しい折、株主の皆様におかれましてはくれぐれもご自愛ください。今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2026年8月

富士電機株式会社
代表取締役会長CEO **北澤通宏**

2026年度 第1四半期決算

売上高、営業利益、経常利益、純利益はいずれも過去最高を更新



売上高

前年同期に比べ253億円増加の2,733億円となりました。
エネルギー、インダストリーが業績を牽引しました。

エネルギーは発電プラント分野の地熱及び水力発電の案件や、エネルギーマネジメント分野の蓄電システムや変電システムの大口案件の増加等を主因に増収。インダストリーはFAコンポーネント分野、オートメーション分野及び器具分野の需要増や、ITソリューション分野の大口案件の増加等により増収。半導体は、産業分野はモータードライブ向けの需要増があったものの電動車向けの需要減により減収。食品流通はコンビニエンスストア向けカウンター機材の需要増があったものの国内自販機の需要減により減収となりました。

営業利益

前年同期に比べ69億円増加の250億円となりました。

人的投資の拡充による人件費の増加や、原材料価格の高騰影響があったものの、エネルギー、インダストリーにおける物量・生産増等を主因にして増益となりました。

純利益

営業利益の増に加え、特別利益として政策保有株式売却益を計上したことにより、前年同期に比べ98億円増加の207億円となりました。

(単位:億円)

セグメント別	2025年度実績		2026年度実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
エネルギー	742	84	825	121	83	37
インダストリー	873	29	1,039	85	166	56
半導体	548	49	544	31	△4	△18
食品流通	263	31	261	27	△2	△4
その他	138	8	150	9	13	1
消去または全社	△85	△20	△87	△23	△1	△2
合計	2,479	181	2,733	250	253	69

決算や業績予想のご説明はこちら

富士電機 IR説明会

検索

(右の二次元バーコードからもアクセスいただけます。)



2026年度 中間期・通期業績予想 第1四半期決算を踏まえ、業績予想を上方修正

第1四半期決算及び足元の業績動向を踏まえ中間期の業績予想を上方修正しました。通期業績予想は中間期の上方修正を反映するとともに、下期業績予想は当初計画を据え置いています。

(単位:億円)	2025年度 実績		2026年度 4/28予想		2026年度 7/30予想		対前年 増減		対4/28予想 増減	
	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期
売上高	5,432	12,276	5,690	12,750	5,940	13,000	508	724	250	250
営業利益 (営業利益率)	428	1,366 (11.1%)	440	1,425 (11.2%)	580	1,565 (12.0%)	152	199 (0.9%)	140	140 (0.9%)
経常利益	417	1,393	430	1,430	570	1,570	153	177	140	140
純利益 (純利益率)	266	980 (8.0%)	335	1,050 (8.2%)	400	1,115 (8.6%)	134	135 (0.6%)	65	65 (0.3%)

(単位:億円) セグメント別 中間期業績予想	2026年度(中間期) 4/28予想		2026年度(中間期) 7/30予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
エネルギー	1,910	270	2,015	300	105	30
インダストリー	2,090	120	2,235	195	145	75
半導体	1,030	25	1,055	60	25	35
食品流通	525	50	525	50	0	0
その他	290	15	290	15	0	0
消去または全社	△155	△40	△180	△40	△25	0
合計	5,690	440	5,940	580	250	140

第2～4四半期の前提為替レート
4/28予想から変更なし

USD	ユーロ	人民元
¥150	¥175	¥21.9

第150回 定時株主総会開催のご報告

- 開催日時: 2026年6月24日(水) 午前10:00～11:18
- 開催場所: ウェスティンホテル東京

第150回定時株主総会には77名の株主様にご出席いただきました。当日は2025年度の事業活動を映像でご報告し、近藤社長COOより2026年度の対処すべき課題についてご説明しました。

※2025年度の事業活動および2026年度の対処すべき課題に係る説明

につきましては当社ホームページにて映像でご覧いただけます。

<https://www.fujielectric.co.jp/about/ir/stock/meeting/index17.html>

(右の二次元バーコードからもアクセスいただけます。)

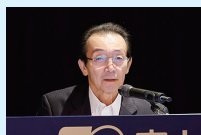


決議事項

第1号議案 取締役10名選任の件

第2号議案 監査役1名選任の件

上記の議案につきましては、賛成多数をもってご承認いただきました。



北澤会長CEO



近藤社長COO

株主様のご承認に基づき、以下の役員体制をスタートしています。

代表取締役	北澤 通宏	常勤監査役	松本 淳一
代表取締役	近藤 史郎	常勤監査役	大橋 潤
取締役	宝泉 徹	社外監査役	高岡 洋彦
取締役	鉄谷 裕司	社外監査役	勝田 裕子
取締役	河野 正志	社外監査役	植松 則行
取締役	三吉 義忠		
社外取締役	丹波 俊人		
社外取締役	富永 由加里		
社外取締役	立藤 幸博		
社外取締役	野城 智也		

※株主総会後の臨時取締役会において、北澤通宏、近藤史郎の両名を代表取締役に選定しました。

公正取引委員会による立入検査について

本年7月、当社は、冷凍冷蔵設備における特定のお客向け取引に関し、独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立入検査を受け、調査に全面的に協力しております。

この事態を重く受け止めるとともに、お取引様をはじめ、関係の皆様にご心配とご迷惑をおかけし深くお詫び申し上げます。

「親会社株主に帰属する当期純利益」は、本報告書においては「純利益」と表記しております。

本報告書の将来についての戦略等に関する記載は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づくものであり、

実際の結果とは実質的に異なる可能性があり、当社はこれらの記載のうち、いかなる内容についても確実性を保証するものではありません。

富士電機株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号

(ゲートシティ大崎イーストタワー)

電話 03-5435-7111 <https://www.fujielectric.co.jp>



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。

